

# 議 会

なかたね町

# だより

第135号 平成27年5月14日発行

## 平成27年第1回定例会

平成27年度当初予算	②～⑤
2人の議員が一般質問	⑥～⑦
所管事務調査	⑧
平成26年度補正予算	⑨
条例・その他・臨時会	⑩～⑪
議会の動き・編集後記	⑫



任期最終の3月定例会終了後

# 平成 27 年 3 月定例会

3月定例会は、3月5日に招集され、3月19日までの15日間の会期で開かれました。初日は、2人(下田敬三・池山朝生)の議員が一般質問を行ない、その後総務文教常任委員長の所管事務調査報告及び条例改正並びに平成26年度一般会計補正予算(第8号)など18議案を原案どおり可決しました。また、平成27年度当初予算7件が各常任委員会へ付託されました。

最終日(19日)は、条例1件、国の地方創生関係補正予算に伴う平成26年度一般会計補正予算(第9号)、各常任委員会へ付託された当初予算7件を原案どおり可決しました。

## 平成27年度一般会計当初予算

**本** 年度の一般会計当初予算は64億8,900万円となりました。

今年度は、町長及び町議会議員選挙の年であるため、新年度の予算編成では、人件費や公債費などの義務的経費を中心とした骨格予算として編成されています。が、扶助費や普通建設事業費、デジタル防災行政無線、精脱葉施設、種子島産婦人科医院建設負担金等の伸びによって、対前年度比3%(1億8,900万円)増の当初予算となりました。

**主** なものについては、人件費及び公債費等の義務的経費が約27億円で全体の41.1%、普通建設事業等の投資的経費は約12億円で全体の19.5%です。

**公** 債費(借金返済)については、7億3,100万円です。本年度末の借入残高見込は、87億8,700万円です。

**基** 金(貯金)残高については、財政調整基金・減債基金等の取り崩し約6億6,800万円を予定し、これを差し引いた残高見込額は、18億7,000万円です。

**そ** の他の特別会計及び事業会計の予算状況は、別表のとおりです。

### 平成27年度一般会計当初予算 64億8,900万円

(別表)

会計名	予算額	対前年度比較
一般会計	64億8,900万円	1億8,900万円
国民健康保険会計	15億2,250万円	7,306万円
と畜場会計	369万円	2万円
簡易水道会計	2億6,146万円	▲1億1,007万円
介護保険会計	10億5,359万円	5,469万円
後期高齢者会計	1億3,590万円	▲235万円
水道事業会計 (収益的収支)	1億9,601万円	1,147万円



# 予算委員会での主な質疑

## 総務文教常任委員会

### 議会・監査

**議会** 議費は、議員共済費負担金率上昇と隔年実施している議会運営委員会視察旅費等により、昨年度から406万円増の9797万円を計上しています。

**監査** 監査委員経費は、隔年おきに出席している全国研修会への不参加により、昨年度から87万円減の978万円です。

**印刷** 印刷費は、毎年変わるのか。

**歳入** 歳入は、普通預金利息が11万円、歳出は、印刷機リース満了による使用料の減額で、昨年度から30万円減の235万円を計上しています。

### 会計課

**印刷** 印刷機の新たなリース契約は行なわないのか。

**リース** リース満了により、今後は保守契約を地元業者と行なう予定です。

### 社会教育課

社会教育係は、生涯学習を総合的に推進するため、研修会等を開催し推進指導体制の整備充実と指導者の育成を図る。予算額は、社会教育総務費・社会教育施設管理費で9134万円を計上しています。

公民館係は、中央公民館を生涯学習の拠点として位置づけ、生涯学習講座や福寿大学の開設など生涯学習の推進を図ります。予算額は、公民館費1215万円計上しています。

文化係は、多くの町民が芸術文化を創造し、享受できる環境づくりを推進します。予算額は、種子島こりーな管理経費等で4009万円を計上しています。

社会体育係は、スポーツを通じた「健康で明るく住みよい町づくり」を推進し、町民の健康づくりと競技力向上を図ります。予算額は、体育施設管理費等4820万円を計上しています。

**旧南界中学校体育館** 旧南界中学校体育館改修後の利用状況は。

**南界校区** 南界校区を中心に、月に2・3団体、平均25名

程度の利用です。

**国民文化祭** 国民文化祭の経費の

**CGアートフェス** CGアートフェステイバルに関連づけて、タネガシマンの衣装リニューアル、各校区キャラクター作成等です。

### 教育総務課

発達障害など特別な教育的支援を要する児童・生徒が在籍する小中学校に特別支援員8人を配置し、適切な支援を行ないます。土曜授業は、27年5月から毎月第2土曜日午前中に実施します。学校施設及び教職員住宅は、老朽化が進んでいるが、年次的・計画的な改修を進めます。予算総額は、教育総務費・各小中学校費で3億304万円を計上しています。

**特別支援教育** 特別支援教育支援員の仕事はどういうものか。

**授業** 授業に集中できず、先生の指示がうまく聞け取れない子どもに付いて、授業を進める補助の役目を担っています。

### 給食センター

**成長期** 成長期にある児童・生徒の心身の健全な発

達を願い、成長の段階に応じた安全でバランスのとれた給食の提供を基本にしながら管理運営に努めています。予算総額は、4391万円を計上しています。

**小学校給食費** 小学校給食費補助の内訳は。

**小学生** 小学生の児童に1食あたり20円、中学校の生徒に40円補助していただきます。

### 水道課

簡易水道事業は、平成28年度末までの上水道事業への統合に向け、簡易水道再編推進事業で計画的に実施してまいります。歳入予算は、給水件数644件、総給水量11万m<sup>3</sup>、水道使用料及び手数料2119万円が主なものです。歳出は、昨年度比1億1006万円減額の2億6146万円を計上しています。

**水道事業** 水道事業は、石綿の導水管・配水管の更新、漏水対策等を継続実施し、安定供給を図っています。収益的収入は、給水件数4124件、総給水量96万m<sup>3</sup>、水道使用料の給水収益を1億8348万円と見込んでいます。収益的支出は、昨年度比8.5%増の1億8559万円を計上、資

本的支出は、昨年度比35.8%減の6893万円を計上しています。

**簡易水道** 簡易水道と上水道と統合した場合の利点は。

**資産** 資産の明確化、経営状態がはつきりします。

**水不足** 水不足についての考えは。

**浄水場** 浄水場敷地内に深さ185mのボーリングを行ない、1日に1140トンの水を確保できます。

### 税務課

適正で公正な課税、公正で確実な徴収、正確で迅速な収納管理により自主財源の確保に努めています。歳入は、昨年度比0.6%減額の7億2138万円、歳出は、8.5%増額の8549

万円を計上しています。国保特別会計は、地域保険に位置づけられる国民健康保険制度を維持運営するため、その財源となります。国保税の意義周知を図りながら、町税と一体化となった賦課・徴収・収納管理に努めます。歳入は、昨年度比0.8%増額の2億6475万円、歳出は、2.4%増額の3599万円を計上しています。

**自動車税** 軽自動車税が上がるようになっていくが、税額は。

**軽乗用車** 軽乗用車が7200円から1万8000円、軽貨物が40000円から50000円になります。

### 企画課

企画調整係は、5年目を迎える長期振興計画の後期計画策定「まち・ひと・しごと創生法」による総合戦略等の策定業務に取り組みます。また、集落支援員による「空き家対策」等を具体的活動項目として計画しています。10月1日を基準日として行なわれる国勢調査は、人口・世帯等の実態把握を行ないます。予算額は、昨年度比28.6%減額の3637万円を計上しています。



▲総務文教所管予算委員会

広報係は、行政情報を主として地域住民へわかりやすく提供します。予算額は、昨年度比1.5%増額の410万円を計上しています。

地域振興係は、商品券事業等を継続し、また、商工会への活動支援を行ない、組織の強化を図ります。定住促進関係では、空き家改修事業、地域定住支援事業を継続します。予算額は、昨年度比14.7%減額の7438万円を計上しています。

問 乗合タクシーの利用度は。  
答 5路線で、延べ448名利用しています。

問 定住支援事業を野間校区の市街地から外れた集落を補助対象にする考えは。  
答 27年度は現状の制度で進めるが、対象拡大については検討すべき事項と思われま。

選挙管理委員会  
4月に県議会議員選挙、町長・町議会議員選挙を控えており、明らかな選挙の実現と投票率向上に向けて町民の意識高揚を図ります。予算総額は2308万円を計

上しています。  
問 県議選と町長・町議選の投票立会人の金額の違いは。  
答 県議選9日間、町長・町議選4日と期日前投票の期間に差があります。

総務課  
行政係は、定員管理適正化計画に基づき、給与の適正化、諸経費の節減に努め、町の健全化に努めます。予算額は、一般管理費等3億7020万円を計上しています。

管財係は、町有林管理に關して、適期伐採により森林造成、水源涵養と山地保全等に努めます。予算額は、財産管理費・造林事業費で9029万円を計上しています。

消防交通係は、防災無線の老朽化、電波法の改正により防災行政無線システムデジタル化事業を実施します。予算額は、非常備消防費・災害対策費等で6億5433万円を計上しています。

財政係は、収支の均衡の取れた財政運営に努め、経常経費・物件費の抑制に努めます。予算額は、公債費等7億3124万円を計上しています。

施設管理係は、利用者が気持ちよく、安心して

利用できる施設の維持管理に努めます。予算額は、公共施設管理費で3936万円計上しています。

問 マイナンバー制度に対する国からの財源はないのか。  
答 例規整備等を総務課で行なうが、補助金は町民保健課でやっています。

問 デジタル化事業の戸別受信機は、年次的に戸数が増えるのか。  
答 26年度は500件、27年度は1800件、28年度は1700件予定しています。

産業厚生常任委員会

中央保育所

定員140名で0歳児から5歳児までを対象とし、国の保育指針に沿って保育を必要とする乳幼児の保育を行なっています。27年度の保育方針は「基本的な生活習慣の確立」とし、安心、安全な保育及び教育環境の整備に努めています。予算総額は、保育所運営費・子育て支援センター事業費で1億510万円を計上しています。

問 職員研修の方法は。  
答 月1回単独で実施し、3ヶ月に1回程度各関係機関と連携し実施しています。

農林水産課  
農政係は、基幹作物であるサトウキビの不作からの生産回復・安定、品質向上を図るべく優良種苗の供給、管理、収穫作業の機械化等を推進します。予算額は、2億9884万円を計上しています。

農村振興係は、農業従事者の高齢化、農業担い手不足が進行する中で農業経営基盤の強化を図るべく、農地中間管理機構等の活用により人、農地プランの中心となる経営体への農地集積や青年就農給付金事業による新規就農者の確保に努めます。予算額は、3528万円を計上しています。

畜産係は、本町農業精算額の3割を目標に、地域の特性を生かした活力ある産地づくりを推進します。予算額は、6257万円を計上しています。

林務水産係は、森林の持つ目的に沿った計画的かつ効率的な森林整備と施行の集団化・共同化を推進します。

また、離島漁業再生支援交付金事業を活用し、効率的な事業を推進します。予算額は、5806万円を計上しています。

問 環境保全型農業直接支援対策事業の詳細は。  
答 国が50%、県・町が25%になっている。温暖化防止や環境保全の高い農業者に補助します。

問 水産業振興費の昨年度比減額の理由は。  
答 離島漁業再生支援交付金事業の事業量減と種子島周辺漁業対策事業の減によるものです。

建設課  
町民のニーズ・地域の発展に寄与し、安心・安いで快適な生活を支える社会基盤整備のために、長期計画に沿った各種事業導入を積極的に行ない生活基盤の整備に努めます。予算総額は、4億6907万円を計上しています。

問 空港管理総務費の委託料は。  
答 化学消防車2台の管理委託料です。

問 港湾管理費の減額理由は。  
答 26年度は、大塩屋港の浚渫工事費を計上していません。

農地整備課  
27年度においても農業生産性の向上、食料の安定供給、担い手の育成確保、農業経営の安定化を図るため、農業生産基盤整備と農村環境整備を総合的に推進します。予算額は、2億4047万円を計上しています。

問 国土調査の高度な測量技術による成果は、土地利用や各種事業の計画、災害復旧時における境界の復元など多目的に活用されています。予算額は5799万円を計上しています。

問 多面的機能支払交付金推進事業の取組は。  
答 現在13の地区で実施しています。農道農地等の維持補修が主な内容。27年度は4地区新規計上しています。

問 国土調査事業1職員1名減で対応できるのか。  
答 委託職員を増やしています。

町民保健課  
戸籍住民係は、戸籍及び住民基本台帳に關す

な

な

な



る届け出の受理及び交付など身分に関する管理事務等を主な業務としています。予算額は、社会保障・税番号制度システム整備負担金等4954万円を計上しています。

年金係は、年金受給及び免除申請等の業務を主としています。予算額は、人件費・事務費等789万円を計上しています。

保健予防係は、乳幼児に対する予防接種業務、母子保健事業、各種がん検診等の健康増進事業を通じて住民の健康維持・増進を図っています。予算額は、各種健診委託費、公立病院、産婦人科医医院負担金等2億1835万円を計上しています。

町民保健課所管の国保特別会計は、被保険者2923名に係る医療費の給付業務と医療費抑制対策が主なものです。予算額は、保険給付費及び共同事業拠出金等15億2250万円を計上しています。

後期高齢者医療特別会計は、被保険者が1829名で、医療費は年々増加傾向にあります。人件費を含めた事務費、基盤安定負担金納付金等1億3590万円を計上しています。

**問** 国保データベースの利活用は。

**答** 町内の疾病データ等で保健指導等に利用します。

**問** 不作による後期高齢者医療保険料徴収への影響は。

**答** 年金徴収のため影響はないと考えます。

**農業委員会**

最も基本的かつ重要な業務である農地法に基づき許認可の他に、地域農業の振興に向けた連携と実践活動の展開に向け、関係機関一体となって業務を遂行しています。予算額は農業委員会経費等4458万円を計上しています。

**問** 新規就農者の条件は。

**答** 現在5反だが、生産性のあるものに対しては柔軟な対応をしています。

**福祉環境課**

福祉係は、高齢者、身体・知的・精神障害、児童、母子寡婦に関する福祉対策、温泉保養センター・老人福祉センターの管理、民生委員協議会、生活保護、戦没者援護等の業務を行なっています。



▲産業厚生所管予算委員会

います。予算額は、障害者福祉サービス費、子育て支援関係費で7億8973万円を計上しています。

環境衛生係は、環境公衆衛生、防疫、狂犬病予防、と畜場運営に関する事項等の業務を行なっています。予算額は、浄化槽設置補助や中南衛生管理組合・種子島地区広域事務組合への負担金等3億9725万円を計上しています。

介護保険事業については、平成27年度から29年度の3年間の第6期介護保険事業計画に沿った事業展開をしています。

地域包括支援センターは、高齢者支援サービス・介護サービスの総合的な窓口であり、質の高い包括的サービス

の提供を図るための役割を担っています。予算額は、総務管理経費、介護認定審査会経費等10億5358万円を計上しています。

と畜場特別会計については、維持管理経費369万7千円を計上しています。

**問** 犬の登録頭数。犬や猫が死亡した場合の規制や犬猫の火葬場は考えていないか。

**答** 1851頭登録。保健所に連絡し、広域事務組合で処理している。規制はなく、計画もありません。

**問** 介護保険料が増額した理由は。

**答** 第6期期間内の給付見込額が4億程度純増となります。これに対応するための保険料を確保しなければならぬためです。

平成27年度  
当初予算の主なもの



旧星原中学校武道館解体工事  
1,216万円



種子島産婦人科医院組合建設負担金  
7,850万円



さとうきび産地活性化実践事業  
(精脱葉施設) 14,485万円



農業基盤整備促進事業(中種子地区)  
2,500万円



農道改良舗装事業  
(大平 他2地区) 5,942万円



道路改良舗装事業  
(梶瀨1号線他5路線) 28,023万円



自然災害防止事業(畠田地区)  
2,002万円



教職員住宅建替事業(増田小学校長住宅他)  
3,133万円



サトウキビ対策

## 今期の記録的不作への対応は

町長／国の基金事業・緊急補正対策事業と町単独の対策事業で対応



川下 三業 議員

さらには、今回、補正予算で計上しており、

民間の受託を補う農業公社に機械を増やし、小回りの効く作業班を

町長 栽培技術の情報提供を、熊毛支場や農協が説明をなし、町の技連会、振興会と連携し町対

下田 敬三 議員

低糖度の作況と集荷状況の説明を求めます。

町長 台風の影響により、生産見込みは反収5トン台、糖度11度未満と記録的な低単収・低糖度となり、最悪の結果になると予測されます。

町長 今後の対応策は、既存の増産対策事業の基金残高を活用し27年度まで実施されます。

高年齢・小規模農家への管理作業の対応は町長／将来、民間・農業公社の体制の強化が必要か

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後の対応策は、既存の増産対策事業の基金残高を活用し27年度まで実施されます。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後の対応策は、既存の増産対策事業の基金残高を活用し27年度まで実施されます。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後の対応策は、既存の増産対策事業の基金残高を活用し27年度まで実施されます。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後の対応策は、既存の増産対策事業の基金残高を活用し27年度まで実施されます。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。

町長 今後、株揃え機等の充実を図り、県の事業等も活用しながら、民間・公社の管理作業受託の強化を進めるべきだと思います。



▲キビ管理状況

策協議会が中心となるべきだと思います。必要はないか。

町長 農業公社は、現在、新規就農者等の育成事業を行なっています。管理作業の受託もしています。公社が管理作業を規模拡大し、併せて、栽培技術の指導もできるとは思います。





池山 朝生議員

**池山** この地の開発は種子島の観光振興、地域興しの拠点として最重要地域であると考え、町長はどう思うか。

レクリエーション村  
整備

# 中種子町自然レクリエーション村に若者が集う施設整備を

## 町長／癒しの場として今後検討

**池山** 計画はどのような形で検討がなされ、地域資源を取り込んだ周辺整備計画ができていくのか。

**町長** 自然レクリエーション村施設整備検討委員会を観光協会、自然保護審議会、地元校区、レクリエーション協会及び地域づくり団体の各代表者を委員として委嘱し施設整備について、  
昨年の5月と今年の1月の2回開催し、基本構想及び基本計画を検討してきました。  
一つ目に防災対策や施設内の安全対策の必要性、2点目にシロアリ・塩害対策、3点目に利活用の検討をしました。

**町長** 多くの人に来てもらい観光振興の大変重要な施設だと考えています。

**池山** 検討委員会の中でのような情報収集がなされたか。いろんな角度からアイデアが出てきたか。また年間の集客をどの位見込んだか。

**副町長** プロポーザル方式で上がってきた計画図面で委員に意見を聞きました。集客人口については、検討していません。みんなが使いやすい、行きやすい施設にするよう検討しました。

**池山** 地域が活性化するための施設とするには、中途半端な施設では無駄になってしまう。過去にもトイレ改修工事でも無駄なことをしている。管理棟のなかに飲食店の計画があるが指定管理者制度を利用し、地元婦人部が郷土料理を提供し、ロケット打ち

上げ時の観光客・温泉センター利用者も利用できる施設の建設が必要と考えるが。

**町長** 費用対効果は考えてはいけない。「癒しの場」としてのコンセプトとして建設し、県の地域振興事業を取り入れながら県と協議し進めます。

**池山** 温泉センターから町境のマンガロープまでレクリエーション村一帯を全体的に整備し周辺を取り込んだ計画をするべきではないか。

**町長** 阿嶽川を有効利用し、カヤックの発着場や体験ゾーンとして活用することを検討しています。

**池山** 将来この地が、種子島の観光の核となるよう、自然レクリエーション村が中心となる観光資源とするため、ロ

ケット打ち上げ時の観光客、広田遺跡ミュージアム・千座の岩屋・阿嶽マンガロープを利用しスケートボードパーク・キャンプ・サーフィン等年間を通して利用できる施設を建設すべきではないか。

**町長** 自然レクリエーション村施設整備検討委員会の方向性の中で「癒しの場」にすべくとっています。観光の拠点施設として、できれば今後検討していきたい。

**池山** 整備計画は、中途半端な計画にしない、利用者目線、採算性、人が集まる空間づくりを目指す。地域資源を最大限生かした地域興し、地域づくりをするべきである。地域に住んでいる若者を動かすことが大事である。

※プロポーザル方式  
主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行なった者を選定すること。



▲熊野レクリエーション村

# 《所管事務調査報告》 総務文教常任委員会

## 学校教育の実態について

去る1月28日、教育委員会担当職員の出席を求め、学校教育の実態について調査を実施しました。

### 星原小学校

児童数7名(3学級)

教育目標は「確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく夢をもって生きる児童の育成」であり、スローガ



▲星原小学校

ンとして「元気に登校笑顔で下校 元気に出勤 笑顔で退庁」を掲げ、「確かな学力の定着・向上と主体的学習態度の育成」「思いやりの心の育成と基本的生活習慣の確立」「体力づくりの推進、健康・安全教育の充実」「よさを生かし、伸ばす教育、教育活動の推進」「職員の資質教条を図る取組の推進・充実」などの課題を掲げています。

おで、さようなら」学校大好き 増田っ子」を掲げ、「少人数学級の特性を生かし、一人ひとりの子どもに対し、基礎・基本と思考力等のバランスのとれた学力の定着と向上に努める」「夢や目標を持ち、心豊かで思いやりがあり、たくましい子ども

### 増田小学校

児童数51名(6学級)

教育目標は「自ら学び、思いやりの心をもち、心身ともにたくましい子どもを育成する」であり、キャッチフレーズに「はずんで、おはようございます」が



▲増田小学校

おで、さようなら」学校大好き 増田っ子」を掲げ、「少人数学級の特性を生かし、一人ひとりの子どもに対し、基礎・基本と思考力等のバランスのとれた学力の定着と向上に努める」「夢や目標を持ち、心豊かで思いやりがあり、たくましい子ども

### 南界小学校

児童数41名(4学級)

教育目標は「感性に富み、心身ともにたくましく生きる個性豊かな児童の育成」であり、スローガンに「楽しい学校 元気な校区 地域とともに伸びる南界小学校」を掲げ、重点課題として、学力向上の指導法改善、心の教育の充実、健康教育の充実と安全教育の徹底、特色ある教育活動の推進などを掲げています。



▲南界小学校

### 岩岡小学校

児童数22名(3学級)

教育目標は「心身ともに健やかで、豊かな心をもち、自ら学び、創造性に富む、活力と実践力のある岩岡の子どもを育成」であり、キャッチフレーズとして「ウミガメと花と一輪車の学校」を掲げ、たねがしま留学生の受け入れをはじめ、特色ある教育活動を実施しています。



▲岩岡小学校

## 学校施設の補修

施設整備の補修については、各学校ともに改善を要する箇所が見受けられました。緊急性の高いものもあり、児童の安全な教育環境を守るためにも早急な対策を講じるよう望みます。

## まとめ

本町における学校教育は、少子化により児童・生徒が減少する中、安心・安全な教育環境と、ち密な教育内容の造成が、時代を担う子どもたちの健全な育成につながると思います。「生きる力」を育むためにも、学校、家庭、地域が一体となって、相互に連携・協力しながら教育に取り組む必要がある。という委員全員の一致した意見でした。



# 平成26年度補正予算

## 一般会計補正予算

(第8号)

今回の補正は、各事業量の確定(見込み)による事業量の調整。前回の補正以降、必要となった経費の追加、事業量の決定、変更等に伴う執行残額等の減額を行なうものです。

### 歳入

「町税」は、法人税の所得割の増減と消費本数の減によるたばこ税の減額。地方交付税は、普通交付税の追加交付による増額。「国庫支出金」は、障害者福祉費国庫負担金、国の平成25年度補正(がんばれ地域交付金)の増額。「県支出金」は、災害復旧費県補助金の事業費確定に伴う減額。「繰入金」は、財政調整基金への繰戻による減額とキビ低単収・低糖度緊急対策事業へ充当するための農業振

### 歳出

興基金からの繰入金金の増額。「諸収入」は、市町村振興宝くじ市町村交付金の増額。「町債」は、各事業費の変更に伴う調整です。

「総務費」は、共済費負担金率の改訂に伴う減額。「民生費」は、障害者補装具、障害児通所サービス事業、障害福祉サービス事業の各扶助費の増額と国保特別会計繰出金の減額。「衛生費」は、簡易水道特別会計繰出金、各予防接種業務委託料、妊婦・乳幼児健診の減額。「農林水産業費」は、サトウキビ低単収・低糖度緊急対策事業補助金、県営事業負担金の増額。「商工費」は、利子補給事業と信用保証料補助金の減額。「土木費」は、地方特定道路整備事業負担金の減額。「消防費」は、防災行政無線デジタル化整備事業工事

と施工監理業務委託の入札執行残減額。「教育費」は、油久小屋内運動場改修工事費の入札執行残減額。「災害復旧費」は、事業費確定による減額です。



▲キビ刈り取り状況

## 一般会計補正予算

(第9号)

国の補正予算(第1号)「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」からなる「地域住民生活等緊急支援交付金」事業に係る経費を追加するものです。

### 歳入

「国庫支出金」は、地域住民生活等緊急支援交付金の増額。「繰入金」は、財源調整のため財政

### 歳出

調整基金からの繰入金を増額しています。

「総務費」は、中種子町総合戦略策定、人口ビジョン策定支援業務の委託料と意見交換会及び有識者会議出席の旅費増額。また、過疎地域独身男女結婚対策事業の実行委員会負担金の増額。「民生費」は、出産子育て支援事業の出産祝い金と放課後児童クラブ運営事業補助金の増額。「農林水産業費」は、新規就農者研修事業負担金と種子島農業公社子会社設立補助金の増額。「商工費」は、スーパープレミアム付き商品券販売事業とスポーツ合宿等誘致推進協議会への補助金の増額。「教育費」は、なかたね学童保育指導員賃金と運営委員会補助金及び無償化補助金の増額です。

各会計ごとの補正額及び補正後の額は別表のとおりです。



▲独身男女交流イベント



▲学童保育

### 平成26年度会計別予算額

別表

会計名 (補正号数)	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第8号)	▲8,818万円	63億3,568万円
一般会計 (第9号)	5,866万円	63億9,434万円
特別会計		
国民健康保険会計 (第5号)	▲6,984万円	13億8,034万円
簡易水道事業会計 (第5号)	▲358万円	3億7,562万円
介護保険事業会計 (第5号)	162万円	15億808万円
後期高齢者医療会計 (第5号)	▲74万円	1億3,702万円
水道事業会計(収益的支出) (第4号)	▲706万円	1億7,747万円

# 条 例

## ■中種子町行政手続条 例の一部改正

行政手続法の一部を改正する法律が公布されたことにより、法令に違反する事実の是正、行政指導を求める「処分等の求め」、「行政指導の中止等の求め」の手続を新設すること等によって、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、国民の権利利益の保護を目的とするため一部改正するものです。

## ■地方教育行政の組織 及び運営に関する法律 の一部改正に伴う関係 条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正する法律の施行により、教育委員

長と教育長を一本化した新教育長の設置等、教育委員会の審議の活性化や危機管理体制の構築、地域の民意を代表する首長との連携が強化されるため一部を改正するものです。

## ■教育長の勤務時間そ の他の勤務条件及び職 務専念義務特例条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正する法律の施行により、教育長の勤務条件、職務専念義務について、新たな条例を定めるものです。

## ■社会福祉法人中種子 町社会福祉協議会運 資金貸付条例

中種子町社会福祉協議会の運営資金を安定させ、円滑な事業推進を図るため、町が予算の範囲内で事業運営資金を設定し貸付を行ない、合理的運営に資するため条例を制定するものです。

## ■職員の給与に関する 条例の一部改正

平成27年4月1日から給料表の改正により2%から4%の引き下げが行なわれ、それに伴う現給補償を3年間、27年度からの期末手当を0.075月分増額するため一部改正するものです。

## ■中種子町子ども・子 育て支援法に基づく過 料に関する条例

子ども・子育て支援法の規定に基づき、正当な理由なしに、報告もしくは物件の提出・提示等をしない者または虚偽の報告をした者に対し、過料の額を10万円以下と規定するものです。

## ■中種子町保育所設置 条例の全部改正

子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から実施されることに伴い、既存条例の全部を改正するものです。



▲社会福祉協議会

## ■中種子町保育の必要 性の認定基準に関する 条例

子ども・子育て支援法の規定に基づき、保育の必要性の基準及び保育必要量の区分並びに優先保育の基準を定めるため条例を制定するものです。



▲中央保育所



### ■中種子町肉用牛貸付基金条例等を廃止する

#### 条例

平成5年度から1億円が運用してきた、ふると牛貸付制度については、貸付が極端に減少していること、また、肉用牛貸付基金及び肉用牛特別導入事業基金についても、農家

の方からの母牛導入に係る資金の拡大等の意見が多く出てきていることから、これまでの畜産振興資金の貸付制度における財政支援を拡充し、畜産農家が活用しやすい資金環境の整備を行ない、さらなる畜産振興を図るため、条例を廃止するものです。

### ■中種子町畜産振興基金条例

#### 肉用牛貸付基金条例

平成27年度から29年度及び肉用牛特別導入事業基金条例の廃止に伴い、基金残高及び返納金を積み立て、今後の畜産振興に資するため条例を制定するものです。

今回の改正では、町の資金を20万円増額して45万円に引き上げ、合計70万円を限度額とし、償還期間も5年から7年間の無利息融資を行ない、素牛の維持・増頭を確保して経費の安定を図るため一部を改正するものです。

### ■中種子町介護保険条例の一部改正

平成27年度から29年度の3カ年を第6期介護保険事業計画運営期間とし、介護給付費対象サービス量の見込等に基つき保険料を改定し、保険料率の基準を6段階から9段階に改定するものです。

また、新たな介護予防事業、介護予防、日常生活支援総合事業の開始時期については、開始が猶予されていることから円滑な制度移行を行うことができるよう制定するものです。

## その他

### ■中種子町道路線の認定について

県道の道路改良工事に伴い、県から移管をされる主要地方道野間十三番西之表線の一部について、町道二十番赤坂線として認定するものです。

#### 《内訳》

総延長 168.5m

幅員 5.5m



▲町道二十番赤坂線

## 臨時会

### ■平成27年第1回臨時会

(平成27年1月23日)

※中種子町簡易水道再編推進事業工事26-1工区請負変更契約

今回の変更は、場内整備工で配水管の継ぎ手、仕切弁等7個追加、試掘により既設配水管との接続のため、配水管150ミリメートルの延長を77メートルに、コンクリート舗装187平方メートルを追加・変更するものです。

変更に伴い、契約金額を72万4000円増額の6898万円、工期を21日間延長し平成27年2月20日までとするものです。

# 議会傍聴においでください。

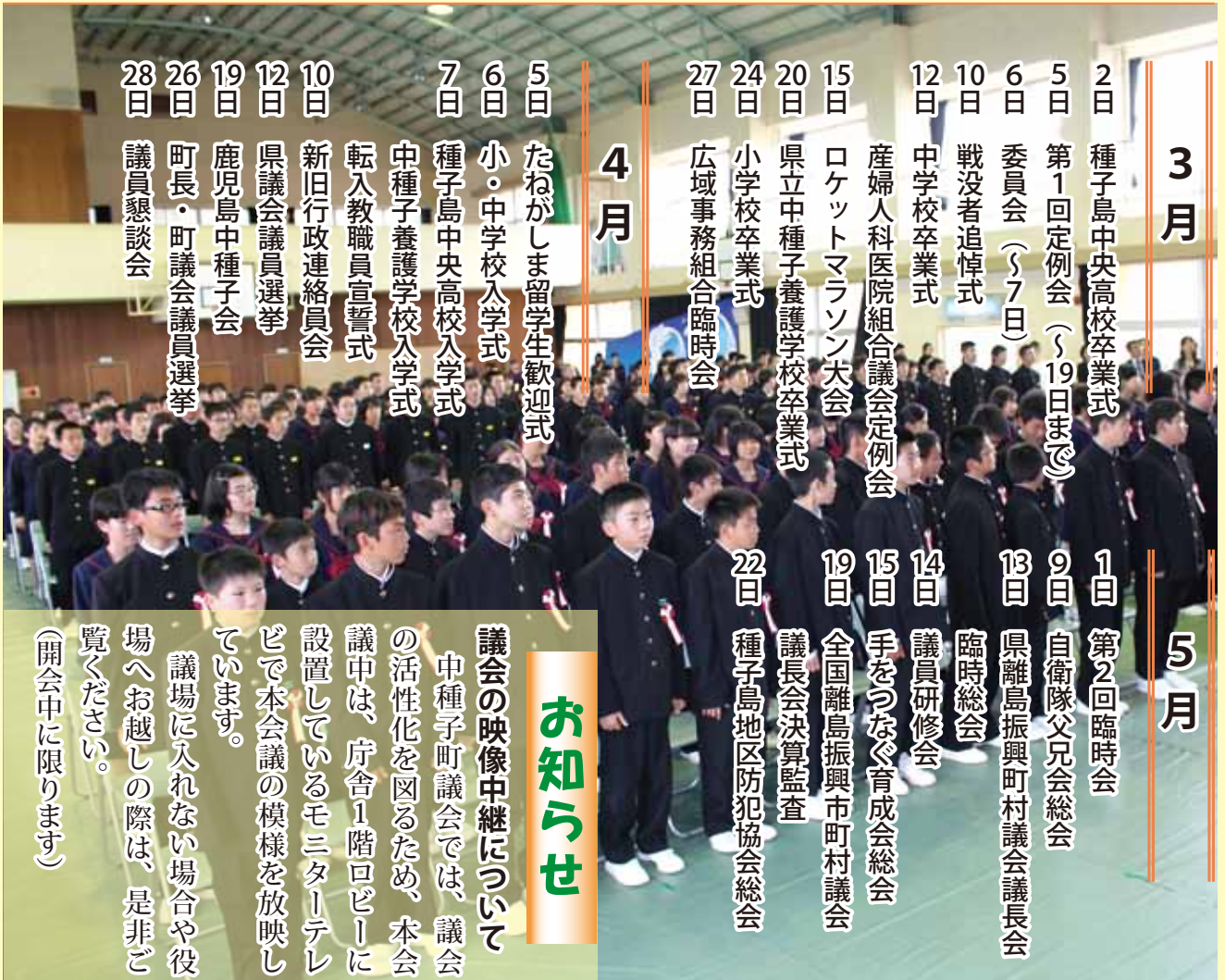
平成27年6月議会は16日に招集される予定です。

町民の皆様は、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。

開会日前には、防災無線でお知らせします。

## 議会の動き



**3月**

- 2日 種子島中央高校卒業式
- 5日 第1回定例会（～19日まで）
- 6日 委員会（～7日）
- 10日 戦没者追悼式
- 12日 中学校卒業式
- 15日 ロケットマラソン大会
- 20日 県立中種子養護学校卒業式
- 24日 小学校卒業式
- 27日 広域事務組合臨時会

**4月**

- 5日 たねがしま留学生歓迎式
- 6日 小・中学校入学式
- 7日 種子島中央高校入学式
- 中種子養護学校入学式
- 転入教職員宣誓式
- 10日 新旧行政連絡員会
- 12日 県議会議員選挙
- 19日 鹿児島中種子会
- 26日 町長・町議会議員選挙
- 28日 議員懇談会

**5月**

- 1日 第2回臨時会
- 9日 自衛隊父兄会総会
- 13日 県離島振興町村議会議長会臨時総会
- 14日 議員研修会
- 15日 手をつなぐ育成会総会
- 19日 全国離島振興市町村議会議長会決算監査
- 22日 種子島地区防犯協会総会

**お知らせ**

議会の映像中継について  
中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様相を放映しています。

議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。  
(開会中に限ります)

## 編集後記

4月6日に町内の小中学校にて入学式が行なわれました。小学生が60名、中学生が78名の児童・生徒が入学されました。期待と不安の中だと思いますが、楽しい学校生活を育んでほしいものです。子どもたちが、安心して学べる環境づくりに、議会全体で取り組んでいきたいと思えます。

さて、私たち編集委員会も、現体制での広報活動はこれが最後となりました。町民に、議会活動の広報に努め、わかりやすく、読みやすい「議会だより」に少しでも近づけたのではないかと思います。ご愛読いただいたことに感謝を申し上げます。

編集委員長 濱脇 重樹

広報編集委員会  
委員長 濱脇 重樹  
副委員長 徳永 留夫  
委員 員 迫田 秀三  
日高 和典  
園中 孝夫  
下田 敬三

